

# 財務・会計

## 令和6年度 中小企業診断士1次試験

### 本試験 第3問

ウ 保有する有価証券のうち、時価をもって貸借対照表価額とするのは、売買目的有価証券と関連会社株式である。(×)。

### 本試験 第6問

ウ 資産除去債務は、関連する有形固定資産の控除項目として表示する。(×)。

### 本試験 第13問

エ 増資と留保利益は、長期資金調達であり、内部金融に分類される。(×)。

### 本試験 第14問

A社の負債コストは2%、時価基準の負債比率(負債÷自己資本)は0.25、WACC(加重平均資本コスト)は6.28%である。A社の自己資本コストに含まれるリスクプレミアムとして、最も適切なものはどれか。なお、リスクフリー・レートは1%、法人税等の実効税率は30%である。

- ア 6.5% (○)  
イ 6.9% (×)  
ウ 7.5% (×)  
エ 7.9% (×)

### 本試験 第21問

C社の当期首の自己資本は3,000万円である。また、負債による資金調達を行わず、今後、外部からの資金調達を行わない予定である。当期のROEは5%、当期の配当性向は40%、株主の要求収益率は5%であり、これらは毎期一定とする。

C社の当期のサステナブル成長率と当期末の配当支払後の株主価値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、本問において、当期のROEは当期純利益を当期首の自己資本で除した値であり、配当は毎期末に支払われるものとする。

- ア サステナブル成長率:2% (×) 株主価値:3,060万円  
イ サステナブル成長率:2% (×) 株主価値:3,090万円  
ウ サステナブル成長率:3% (○) 株主価値:3,060万円  
エ サステナブル成長率:3% (○) 株主価値:3,090万円

## 2024年合格目標 TAC教材

### 1次完成答練② 第3問

イ 売買目的有価証券については、時価をもって貸借対照表価額とする。(○)  
ウ 子会社株式については、時価をもって貸借対照表価額とする。(×)

### 1次上級答練 第9問

B 資産除去債務は、貸借対照表上、資産除去債務の履行期限にかかわらず固定負債の区分に表示する。(×)

### 1次養成答練 第13問

イ 株式発行による調達は、外部金融のうち直接金融に分類される。(○)

### 1次「財務・会計」Final① 第17問

次の資料に基づいて、当社の加重平均資本コストとして最も適切なものを下記の解答群から選べ(単位:%)。ただし、自己資本のコストはCAPMにより計算し、国債の利回りはリスクフリー・レートに等しいものとする。

	帳簿価額	時 価
負 債	4,000万円	4,000万円
自己資本	5,000万円	6,000万円

当社のβ値	1.5
国債の利回り	2%
市場ポートフォリオの期待収益率	6%
税引前負債コスト	5%
税率	30%

〔解答群〕

- ア 4.6% (×)  
イ 5.8% (×)  
ウ 6.2% (○)  
エ 7.2% (×)

### 1次上級答練 第18問

以下の資料に基づき計算したサステナブル成長率として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資料】

当期純利益	200万円
配当金	80万円
純資産額	1,000万円

〔解答群〕

- ア 8% (×)  
イ 10% (×)  
ウ 12% (○)  
エ 15% (×)